

令和6年度 和歌山県立田辺中学校 スクールプラン

和歌山県の教育の要点

～和歌山らしい教育をめざして～

保護者・地域の願い

- 質の高い授業と学力の向上
- 特色ある教育活動の推進
- 規範意識向上への指導の充実
- 学校と保護者・地域との連携
- 特別活動の充実

【学校教育目標】

「郷土から未来に発信できる人間の育成」
をめざした中高一貫教育

【めざす生徒像】

- ・主体的に学び、課題を探究しようとする意欲的な生徒
- ・様々な体験を通して、自らの進路を考えることができる生徒
- ・集団や社会の一員として、よりよい生活を築こうとする生徒

前年度の学校評価

- 時代が変化するとともに、常識や価値基準が変化しており、そのことに学校が対応していくことが求められている。
- 学校の取組を理解し、協力しようとする意見が多い。

生徒の実態

- 何事にもよく努力する。
- 仲間と協力して活動に取り組める。
- 規範意識が高い生徒が多い。
- 自主性や積極性がまだ十分でない。
- 家庭学習の習慣化に課題がある。

重点目標

確かな理数の学力

- ◎思考力を育むことができる授業の推進
- ◎個別指導や補充学習の充実
- 学習意欲の喚起
- ◎家庭学習の習慣化

豊富な体験

- ◎体験学習の工夫
- ◎キャリア教育の充実
- 読書活動の推進
- 特別活動の充実

幅広い人間性

- ◎道徳の授業の充実
- ◎学級活動や生徒会活動の活性化
- 中高合同の行事の工夫
- ◎教育相談活動の充実

具体的な取組

○研究主任を中心に、研究授業・研究協議を計画的に実施し、授業改善を図る。
○各種学力調査等の結果を分析し、指導法の改善を図るとともに、課題に応じた補習や宿題に取り組ませ、基礎学力の向上を図る。
○オンライン学習支援サービスも活用しながら授業と連動した内容の課題に取り組みさせることで、家庭学習の成果が実感できるように工夫する。

○計画的に体験活動を実施し、主体的に課題を見つけ、自分なりに方法を選択して解決に取り組ませる。
○大学訪問や大学の教員による出前授業等を通して、将来の自己実現の基盤を築く。
○学校図書館利用の促進に努めるとともに、自発的な読書活動を充実する。
○中高一貫校のメリットを生かし、適切な特別活動の実施に努め、豊かな人間形成を図る。

○道徳の時間を要として、規範意識や人権尊重の態度を育成する。
○生徒会活動や委員会活動の活性化を図り、生徒の主体性を育む。
○中高合同で実施している行事について、高校との連携を密にし内容を検討する。体育祭は中学校独自で実施し、自主的に企画・運営できる生徒の育成に努める。
○スクールカウンセラーや関係機関と連携しながら、教育相談活動の充実を図る。

指標

- ・生徒の授業アンケートで、肯定的な回答が90%を上回る。
- ・保護者アンケートで、前回の回答よりも家庭学習の取組が向上する。

- ・生徒の感想文やキャリアパスポートにより、ねらいが達成できたと感じた生徒の回答が90%を上回る。

- ・保護者アンケートで、生き生きと学校生活を送っているとの回答が90%を上回る。
- ・行事についての満足度が前年度を上回る。

◎：特に重点的に取り組むこと